

令和五年 熱田神宮献詠歌 兼題 鯉

名誉宮司 小串 和夫

睡蓮の花の真白と緋鯉の朱いとど鮮やぐ南神池

宮司 千秋 季頼

朝参り神池のさわに佇めば鯉ら群れなす今を盛りと

権宮司 多賀 顕

神池を優雅に泳ぐ錦鯉喧噪忘れ安らぎ祈る

禰 高橋 守

しなやかに泳ぐ錦の鯉の群れ神池に舞ふ花の如しも

禰 芹田 治

宮詣り天空泳ぐ鯉のぼり孫の笑顔に家族癒され

禰 宮川 一穂

北斎の描きし池の中静かたゆとう鯉が我に微笑む

禰 小久保雅広

遙かなる遠き島より来し君と鯉育みてともにぞ行かん

禰 安江 英男

飛驒は春千匹の鯉里帰り流雪溝は五色に染まる

禰 奥山 哲也

外来種駆除の水抜き宮の森鯉清らかに水面の挙式

選者 加藤 治郎

鯉の口水面に並ぶ幸いは夏の光のひとつときにある

選者 永岡 淑恵

組板の鯉のごとくに覚悟決め白内障の手術受けたり

ご褒美は「鯉庭園」のいちごパフェ銀のスプーンにひろがる甘さ

選者 田中 仁巳

捕らえきし鮒放ちつついつの日か鯉になれよと少年我は

特別委員 岡田 米子

手づくりの鯉のほり風に泳かせつゝ幼駆けくる若葉の小径

特別委員 倉地 亮子

大池の鯉晴れやかに天を向くひと鯉ふたこひさめる目をして

特別委員 大塚 寅彦

鯉口を隠し切りする心にてつね人はあれ秋水映ゆを

特別委員 三留 享

梓弓いのちの春が来たりなば小さき淀みに鯉が群れ舞ふ

披講所役 武田 正典

我が庭に鯉を育てていく月も賑やかなりしえさやる童

披講所役 綾小路有紀

十六夜の白鳥池に鯉の背がゆるりとすすむ光る水面を

披講所役 藤井 和文

神前に慎み詠う鯉の歌重き勤に背筋伸ばして

披講所役 白井 貞光

薫風に大魚泳ぐやこの国は父ちゃん母ちゃん子ども鯉たち

披講所役 加藤 陽生

鯉口を抜ける刀に鞘当てを刀剣至宝熱田国俊

披講所役 野村 辰美

空高く青き山影鯉幟さつき風に悠悠泳ぐ

披講所役 手塚 晴彦

宙泳ぐ天魚のごとき錦鯉CG描けり一夜の虚像

預選

一般の部

紅くれなゐの鯉こひひとすぢひに曳ひく水脈みにあかるき秋あきの風かぜの遊あそべり

愛知県 安部 淑子

愛知県 廣浦 幸子

傘寿さんじゆなり五月ごがつの池いけはきらめきて鯉こひがまっすぐ近づちかづきてくる

愛知県 丸橋 里奈

風かぜが吹ふき揺ゆれる水面みなもへ光差ひかりさし筆先ふでさきのごと鯉こひ行き来きする

愛知県 濱本 敦子

ラジオから聞きこえてくるはたづね人見ひとみ上げる空そらに鯉こひのぼり舞まう

岐阜県 水谷 廣子

音立おとたてて鯉跳こいはねあがる宮みやの池空いけそら一面いちめんの鱗雲いわしぐも見みゆ

愛知県 大石 和一

手てを打うてば響ひびき合あうらし鯉心こいしん君きみに響ひびくやわが恋心こいしん

長野県 中根みち子

口開くちあけて風かぜに真向まむかう鯉こい織背筋いせせすじは風かぜの通とおり道みちなり

愛知県 吉田 恵子

薫風くんがうに生命授いのちさずかり鯉こい織青いりのぼりあおき大河たいがを無言むげんに泳およぐ

鹿児島県 田中 司郎

滝たきのぼる鯉こいになりたる心地ここちして階段かいだん上のぼるエスカレーター

愛知県 鈴木 八重

手てを打うてば寄よりきてすうつと離はなれゆく鯉こいのあぎとの白しろき目めに沁しむ

小中学生の部

「わたしにも」「わたしもほしい」と言いいながら泳およいでくるよ池いけの鯉こいたち

愛知県 林 美琴

子どもこの日空ひそら高々たかたかとこいのぼりいつか私わたしも大きおおくなるぞ

愛知県 小久保杏奈

佳作

一般の部

素潜すもぐりの得意とくいな少年君しょうねんきみの手てがぎゅつと掴つかみし川鯉かわごい一匹いっぴき

岐阜県 中島 澈

結けっこん婚こんのひきでもの鯉こい生きていて池いけに泳およがせそのまま帰かえる

愛知県 深田 時枝

ほの暗くき木下きげに鯉こいの影かげさして手てを打うちたれば紅べにき口浮くちうく

愛知県 野村 ちづ

夕日ゆうひ落おつ荒磯ありその海うみへ鯉こいのぼり最終章さいしゅうしやうを獅子岩ししいわ見み詰つむ

愛知県 野中 清美

鯉こい濃こくを味あじわい遠とざげ喉通のどとおす乳子ちごの為ためなり吾われは母ははなり

愛知県 恒川伊保子

鯉こい織おろした後あとに幼児おさなごが太ふとき腹はらの中なか入いりて遊あそびぬ

愛知県 森田つた子

ふる里さとの水門川すいもんがわに錦鯉にしきこいのあぎとふさまを見みつめてゐたり

愛知県 尾崎 悦子

しずもれる深ふかき緑みどりの神苑しんえんに鯉こいはねる音空おとそらに鋭すどく

群馬県 近藤 周雄

ベランダの小さき鯉のぼり風くれば滝のぼること身を振り躍る

愛知県 小松本眞智

新緑を吹きぬけてくる風呑みて尾まで膨らむ緋鯉が泳ぐ

岐阜県 原田 良子

空の下優雅に泳ぐ鯉幟風の意の儘泳げよ泳げ

愛知県 佐藤 将

獐猛に跳ねる浴衣の鯉しぶき若い力士が地下鉄に居る

愛知県 久野てる子

三人目やつと男児と知る祖父は急ぎ池へと鯉捕りに行く

愛知県 丹羽 陽子

鯉のぼり大空高く風に乗る大志を抱く眼の力

大分県 伊藤 直義

公園の大池さらえの浅水に真鯉・緋鯉は跳ねてあぎと

愛知県 松井香保里

冬日和青年達の池浚ひ鯉との格闘人らが囁す

愛知県 南 真理子

いにしへも今も変はらず大空をより青くする鯉の家族よ

三重県 河井 博

退職に贈りし鯉は二月後跳りて環る絵てがみの中

神奈川県 岸原 秀美

あかときの熱田の宮の池の鯉ゆらり水面のひかりに跳ねる

愛知県 久野 利典

大池に桜ちらほら咲きだして岸边に鯉の絡み合う音

小中学生の部

愛知県 近藤 梓

こいのぼりこれは父さんあれは誰？みんなで語る家族構成

愛知県 鈴木 香純

鯉のぼり父母弟 私居ずわかっていても思わず嫉妬

愛知県 野村ひかる

水面に青空うつり木もうつるその景色はね空飛ぶ鯉たち

愛知県 坂野 冬真

庭園で一人で見えた錦鯉写真を撮って部屋に飾った

愛知県 森川 心春

川の中鯉が泳いで水はじけ心もはじけいい気分だな

愛知県 大川 彩音

帰り道青空泳ぐ鯉のぼり私に告げる初夏の訪れ

献詠集のご案内

神前に奉奠されたすべての詠進歌と、

当日歌会の入選歌を収録した献詠集を刊行いたします。

ご希望の方は小為替若しくは切手で六〇〇円(送料込) 同封の上、

〒456-8585 名古屋市中熱田区神宮二丁目一番一号

熱田神宮宮庁内

熱田神宮 献詠係

へお送りください(十一月頃刊行予定)。
献詠集希望者には来年より献詠祭の要綱を送らせていただきます。

選外佳作

一般の部

西風に煽られ揺れる鯉のぼり尾鰭を上げて
見よとばかりに 愛知県 柴田 通子
鯉のぼりの尾にくすぐられ鬼瓦目尻少しは
下がりくるやも 愛知県 中村 浩子
早朝の我が足音に池の鯉口を大きく開けて
寄りくる 愛知県 伊藤小夜子
村人の出征の日に放たれし鯉をと思ふふる
さとの川 福岡県 西村 嘉彦
百・二百仲間集へる川の空子育て終へて鯉風
遊ぶ 愛媛県 高橋 美樹
つらつらと五十路およげる錦鯉友は嫁より
姑になり 愛知県 伊神 和子
錦鯉泳ぐ水面は華やかに見上げた空はただ
ただ青し 愛知県 森谷 忍
龍門の滝をば鯉は登り切り天翔けめぐる龍
となりたり 愛知県 谷川 清
滝を登る鯉のごとくに力強くマリンバ奏で
る退職後の我 愛知県 名和 千草
今日ひと泳ぎきりたる鯉のぼり夕じめり
して今降ろされる 神奈川県 岩崎 幸子
水面にそいて走れるシャボン玉ずんぐり黒
き鯉の頭上を 愛知県 森 真佐子
木の橋の音楽しみて池の上行きつ戻りつ鯉
に手を打つ 愛知県 遠山 敦子

ひそかなる足音にさへ寄りて来る庭園の鯉
親しみ込めて 愛知県 祖父江和子
鯉のぼりでいと二歳は歌ふ「りなのよ」に子供は
云へないと元気に返す 長野県 上條ひろ子
園庭の空を泳ぐは鯉のぼり風強き日を楽し
むごとし 岡山県 萩原 登
山菜を採らむと巡る溜め池に鯉の影あり水
の尾光る 岐阜県 白木キクヘ
くわえたる我が手の指を吐き出して鯉はゆ
つくり泳ぎて行きぬ 岐阜県 堀 一子
蓮池の葉を縫うように泳ぐ鯉夕空色の水面
がゆれる 神奈川県 小山その子
初孫が生れたと父の手作りの鯉濃の味遠き
思ひ出 大阪府 藤村美智子
宮参りの衣は鯉の滝登り托してゆかな熱田
の風に 愛知県 廣田 久恵
親の夢子の夢孕み鯉のぼり青き芝生の庭に
泳げり 岐阜県 永島かおり
目を細め美味しかったと夫の言ふ物無き時
代の鯉濃の味 愛知県 梶口美都子
鯉濃を作りし妣の思いやり産後の私の母乳
増えたり 愛知県 高田 雅子
掘割にひしめく鯉の躍動に心おどらす津和
野の旅は 愛知県 岡本香代子
睡蓮と鯉の彩り麗しく両手でそつと額縁つ
くる 愛知県 小川 蘭

曾孫訪う旅の車窓に鯉幾多泳ぐ一面の麦畑
の上 三重県 青木 裕美
一世紀を生きると聞けばゆつたりと鯉は泳
ぎぬ父の古里 岐阜県 茂木 晴代
襦袢干す家も無くなり鯉のぼり泳ぎ始めて
児の生れしを知る 愛知県 齋藤とし子
菖蒲湯を思い起こすや鯉節句自ずと消える
郷のしきたり 愛知県 深谷ハネ子
わが影に気づきたるらし錦鯉水輪押し分け
真つ直ぐに来る 愛知県 伊藤千代子
大水で友失いし池の鯉寄り添う吾に大口開
ける 愛知県 松井 董子
鯉の口マスク外した人のよう大きく開けて
生き生きしたり 東京都 小林 和子
おさなごの鯉にパンやる姿見て持ちゆきし
魅を持ち帰ったり 三重県 加藤 貴代
湧き水に浮かぶ睡蓮煌めいて名も無き池の
鯉もアートの 愛知県 加藤 正則

小中学生の部

舞い上がれ色とりどりの鯉のぼり空を見上
げた幼き私 愛知県 栃尾菜乃羽
水面に映る自分と夏の月鯉が顔出し足元ゆ
らぐ 愛知県 石田 りの
池の中優雅に泳ぐニシキゴイ鮮やかな色生
きる宝石 愛知県 野村 美緒
子どもの日君が作った鯉のぼり君にはでか

く僕には小さく 愛知県 安藤 聖真
鯉はねて遠く広くに水紋が春の涼しい静か
な池に 愛知県 浦野 蒼矢
庭園で鯉にえさやりふと見れば私の回りぼ
つぼのむれが 愛知県 佐野 彩佳
昼下がりに水面も動ききらきらと一際目立つ
真つ黒な鯉 愛知県 足立梨依菜
鯉を見てえさをあげた日思い出す幼きころ
のはしゃいだあの日 愛知県 岩島 早希
鯉のぼり風に煽られ空へ飛ぶその姿こそ龍
のごとし 愛知県 鈴木 そよ
すばらしい日本の伝統鯉のぼり空を優雅に
羽ばたく姿 愛知県 飯田 悠太
帰り道鯉の池ある神の杜輝いた瞬間君とい
た夏 愛知県 大矢萌々香
鯉の餌投げたらすぐに餌に寄るそれは正に
バーゲンセール 愛知県 中村 結太
滝登り鯉は試練を乗り越えて別の姿で次の
試練へ 愛知県 田中 煌大
ドンドンと主役務める夏花火浴衣とりどり
鯉模様 愛知県 石田 唯華

令和五年熱田神宮献詠歌集
(預選・佳作・選外佳作)
発行 熱田神宮宮庁
発行日 令和五年九月二十四日
住所 名古屋市中熱田区神宮二丁目一番一号